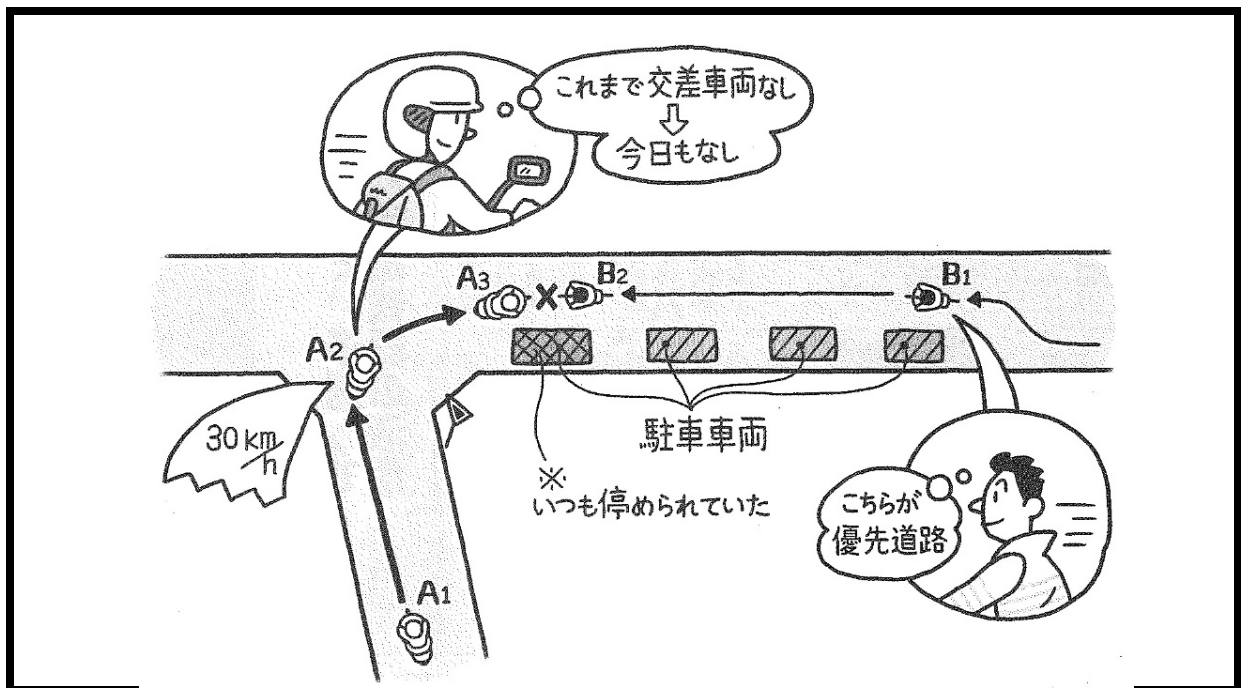


■事故の概況



事故類型：出会い頭

発生日時：平日 午前11時頃

当事者A：原付自転車 20歳代 男性

当事者B：自転車 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは大学の授業に合わせようと急ぎながら、毎日通る通学路を走行していました。右折予定のＴ字路交差点に差し掛かりましたが、今までに交差車両に出合ったことがなかったので一時停止を怠り、時速約30kmで右折を開始しました。

一方、Ｔ字交差点の交差路右方から走行してきたBは、交差点を左折する予定でしたが、進行方向道路左側には3、4台の駐車車両があったため、道路の右寄りを走行していました。双方からの見通しは駐車車両によって妨げられ、互いを認知したときには回避できない状況となり、出会い頭に衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Aの一時停止違反と安全確認不足が原因だと言えます。毎日通る道で、いつもと同じように車両が停められている見慣れた光景に油断し、漫然と交差点に進入したものと考えられます。

一方Bについても、駐車車両によって進行方向の見通しがよくなかったのですから、徐行をするなどして交差点の安全確認をしていれば事故を回避できたかもしれません。自分が優先側だからといっても怪我をするのは自分側である可能性もあるでの、一時停止をしない車両がいるかもしれない、という予測をすることも大切です。

A、Bともにこの道路を頻繁に通行し、いつも同じ場所に駐車車両があることを承知していました。従って見通しの悪さを見越して、徐行をするなどをして相手車両の有無を確認するように習慣づけましょう。